

2025年度

日本史

注 意

1. 監督者の合図があるまでは問題冊子と解答用紙を開かないでください。
2. 別紙の解答用紙は、マーク用解答用紙(1)と記述用解答用紙(2)とに分かれています。指定された解答欄をまちがえないように注意してください。
3. 解答用紙(1)は直接コンピューターにかけますので、折りまげたり、よごしたりしないでください。また枠で囲まれた部分以外には記入しないでください。
4. 解答用紙(1)にマークするときは該当する○にはっきりとマークしてください。

マークのしかた (良い例) ●
(悪い例) ⊖ ⊗ ⊙ ⊕

(万年筆、ボールペンなどは使用してはいけません)

5. 解答用紙(1)に誤ってマークした場合には、消しゴムで跡が残らないようにていねいに消し、消しかすをきれいに払ってください。
6. 試験開始後、解答用紙(1)には氏名、受験番号を記入し、さらにその番号をマークしてください。なお、受験番号を記入するときには解答用紙(1)の〔受験番号記入上の注意〕をよく読んで、まちがいのないようにしてください。
解答用紙(2)には、氏名、受験番号を記入してください。
7. 試験問題はこの冊子の1～11ページに記載されています。
問題冊子の余白部分は、メモとして利用して構いません。
8. 試験終了後、この問題冊子は持ち帰ってください。

1 次の文章 A・B を読んで、以下の間に答えなさい。

A 鎌倉時代には浄土教系の仏教が武士や庶民のあいだに広まっていった。その最初に登場したのが法然^aであった。法然は、源平争乱^bの頃に布教活動を展開し、その教えは公家や武士・庶民に広まった。一方で、法然^cに対する旧仏教側からの非難が高まり、法然は迫害を受けた。法然の弟子である親鸞^dは、阿弥陀仏への他力信心だけが本当の仏法であると主張し、のちに浄土真宗の開祖とされた。同じく、浄土教の流れのなかから一遍^eが登場し、その教えは時宗とよばれた。

B 室町時代には禅宗が広まった。臨済宗では、夢窓疎石が の帰依を受けて以来、幕府の保護のもとで栄えた。足利義満^gの時代には、南宋の官寺の制にならった五山・十刹^hの制が整備され、五山僧らは禅宗文化の普及ⁱにも大きな役割を果たした。その後、禅宗の五山派は幕府の衰退とともに衰えたが、一方、地方布教を志した禅宗諸派(林下)^jは、地方武士や民衆の支持を受けて各地に広がった。

問 a. 下線部 a に関連して、法然の教えを示す史料として適切なものを、次のうちから一つ選びなさい。

- ① それ往生極楽の教行は、濁世末代の目足なり。道俗貴賤、誰か帰せざる者あらむや。
- ② たゞ往生極楽のためニハ、南無阿弥陀仏と申て、疑なく往生スルゾト思とりテ、申外ニハ別ノ子さい候はず。
- ③ 若し先づ国土を安んじて、現当を祈らんと欲せば、速かに情慮を廻らし、慰^{いそ}いで対治を加へよ。所以は何ん。薬師経の七難の内、五難忽ちに起り二難猶残せり。
- ④ 善人なをもちて往生をとぐ、いはんや悪人をや。しかるを、世のひとつねにいはいく、『悪人なを往生す、いかにいはいはんや善人をや』と。

問 g. 下線部 g に関連して、足利義満の時代の文化動向に関するア・イの説明について、その正誤の組合せとして適切なものを、下のうちから一つ選びなさい。

ア 足利義満の京都北山殿に建立された金閣は、三層の楼閣建築で、その一層には寝殿造がとりいれられている。

イ 足利義満の庇護のもと、大和観世座の観阿弥・世阿弥父子が猿楽能を完成した。

- ① ア — 正, イ — 正 ② ア — 正, イ — 誤
③ ア — 誤, イ — 正 ④ ア — 誤, イ — 誤

問 h. 下線部 h に関連して、鎌倉五山の寺院に該当しないものを、次のうちから一つ選びなさい。

- ① 東慶寺 ② 建長寺 ③ 円覚寺 ④ 寿福寺

問 i. 下線部 i に関連して、室町時代の禅宗文化に関する説明として誤っているものを、次のうちから一つ選びなさい。

- ① 五山文学では、絶海中津や義堂周信が出た。
② 茶の湯では、武野紹鷗ののち村田珠光が出て侘茶を大成した。
③ 水墨画では、雪舟が日本的な水墨画様式を創造した。
④ 作庭では、同朋衆の善阿弥が枯山水の庭園をつくった。

問 j. 下線部 j に関連して、林下を代表する大徳寺の僧侶として適切なものを、次のうちから一つ選びなさい。

- ① 池坊専慶 ② 桂庵玄樹 ③ 一休宗純 ④ 隠元隆琦

2 次の文章A～Cを読んで、以下の間に答えなさい。

A 後陽成天皇は、正親町天皇の譲位を受けて1586年に即位した。同年に天皇は豊臣秀吉を a-1 に任命し、豊臣の姓を与えた。1588年、天皇は秀吉が築いた a-2 に行幸し、諸大名は豊臣政権への忠誠を誓った。秀吉死去後、天皇は1603年に徳川家康を征夷大將軍に任命した。また、天皇はいわゆる慶長^b版本を刊行させるなど近世初頭の文運興隆に大きな役割を果たした。1611年、後陽成天皇の皇子である後水尾天皇が即位した。將軍徳川秀忠の娘和子が天皇の中宮になる一方で、幕府は朝廷に対して統制^cを加えた。天皇は紫衣事件^dをきっかけに1629年に譲位した。

B 光格天皇は、閑院宮家に生まれ、後桃園天皇の急死を受けて即位した。在位中の1789年には、父典仁親王に e f の尊号を贈ろうとしたが、老中松平定信^gらに反対されて実現しなかった。この事件で一時、朝幕関係が緊張することになった。

C 孝明天皇は、仁孝天皇の皇子で、1846年に即位した。天皇は積極的に政治に関与し、強硬な攘夷主義と公武合体論という政治的立場をとった。日米修好通商^h条約の締結に際しては、調印に強く反対した。桜田門外の変で i-1 が暗殺されたのち、公武合体の方針のもと皇妹の和宮と將軍 i-2 との婚姻に同意した。1860年代前半に高揚する急進的な尊王攘夷(尊攘)運動には批判的で、1863年には尊攘派を京都から追放した。^j

問 a. 空欄 a-1・a-2 に当てはまる語句の組合せ(a-1・a-2の順)として適切なものを、次のうちから一つ選びなさい。

- ① 摂政・大坂城
- ② 摂政・聚楽第
- ③ 太政大臣・大坂城
- ④ 太政大臣・聚楽第

問 b. 下線部 b に関連して、慶長期前後の文化に関するア・イの説明について、その正誤の組合せとして適切なものを、下のうちから一つ選びなさい。

ア 文禄・慶長の役で日本へ連行された朝鮮人陶工らが陶磁器の生産を始め、窯業発展の基盤が形成された。

イ 朝鮮から伝わった活字印刷技術によって、『平家物語』『伊曾保物語』などの古典や、『日葡辞書』などの辞書が刊行された。

- ① ア — 正, イ — 正 ② ア — 正, イ — 誤
③ ア — 誤, イ — 正 ④ ア — 誤, イ — 誤

問 c. 下線部 c に関連して、江戸幕府による朝廷統制や朝廷支配に関する説明として誤っているものを、次のうちから一つ選びなさい。

- ① 京都所司代を設置し、朝廷の統制や西国大名の監視などを担わせた。
② 武家伝奏は公家から 2 人が選ばれ、朝廷と幕府とをつなぐ窓口となった。
③ 3 代将軍徳川家光は、禁中並公家諸法度を制定し、朝廷運営の基準を明示した。
④ 5 代将軍徳川綱吉は、大嘗会を再興したり、禁裏御料を増やしたりした。

問 d. 下線部 d に関連して、紫衣事件で処罰された大徳寺の僧侶として適切なものを、次のうちから一つ選びなさい。

- ① 沢庵 ② 天海 ③ 契沖 ④ 良寛

問 e. 下線部 e に関連して、閑院宮家が創設された時期として適切なものを、次のうちから一つ選びなさい。

- ① 元禄時代 ② 正徳の政治
③ 享保の改革 ④ 田沼時代

問 f. 空欄 f に当てはまる語句として適切なものを、次のうちから一つ選びなさい。

- ① 大御所 ② 法皇 ③ 太上天皇 ④ 太閤

問 g. 下線部 g に関連して、老中松平定信による改革で出された法令についての次の史料 1・2 に関するア・イの説明について、その正誤の組合せとして適切なものを、下のうちから一つ選びなさい。

〔史料 1〕

一 旧来の借金は勿論、六ヶ年以前辰年までニ借請候金子は、古借・新借の差別無く、棄捐の積り相心得べき事。

(『御触書天保集成』)

〔史料 2〕

一 町入用減金の七分通を以て、町々永続の困糶且積金致し、弐歩通は地主共増し手取金たるべし。残り壹歩は町入用の余分として差加申すべく候。

…

(『御触書天保集成』)

ア 史料 1 は、棄捐令の一部で、旗本・御家人を救済するために出されたものである。

イ 史料 2 は、七分積金に関する法令の一部で、江戸の都市下層民対策の一環として出されたものである。

- ① ア — 正, イ — 正 ② ア — 正, イ — 誤
③ ア — 誤, イ — 正 ④ ア — 誤, イ — 誤

問 h. 下線部 h に関連して、次の史料は日米修好通商条約の一部である。この史料に関する説明として適切なものを、下のうちから一つ選びなさい。

〔史料〕

第一条 向後日本大君と、亜墨利加合衆国と、世々親睦なるへし。…

第三条 下田・箱館港の外、次にいふ所の場所を、左の期限より開くへし。

… 港を開く後六箇月にして下田港は鎖すへし。…

第四条 総て国地に輸入輸出の品々、別冊の通、日本役所へ、運上を納むへし。…

第六条 日本人に対し、法を犯せる亜墨利加人は、 コンシユル裁断所にて吟味の上、 の法度を以て罰すへし。…

(『幕末外国関係文書』)

- ① 第一条の下線部「日本大君」は、「孝明天皇」をさす。
- ② 第三条の空欄 には、開港場の一つである「横浜」が入る。
- ③ 第四条の下線部「別冊」は、「改税約書」をさす。
- ④ 第六条の空欄 には、「亜墨利加」が入る。

問 i. 空欄 i-1・i-2 に当てはまる人物の組合せ(i-1・i-2の順)として適切なものを、次のうちから一つ選びなさい。

- ① 井伊直弼・徳川慶喜
- ② 井伊直弼・徳川家茂
- ③ 安藤信正・徳川慶喜
- ④ 安藤信正・徳川家茂

問 j. 下線部 j の出来事を含む幕末の動向 I ~ III を、古いものから年代順に並べたものとして適切なものを、下のうちから一つ選びなさい。

I 幕府が第 1 次長州征討によって長州藩を攻撃しようとする時、長州藩が恭順の態度をとった。

II 薩摩藩と長州藩が軍事同盟の密約である薩長同盟を結び、反幕府の態度を固めた。

III 薩摩・会津両藩が長州藩勢力と急進派の公家らを京都から追放した。

① I — III — II

② II — I — III

③ II — III — I

④ III — I — II

3 次の文章を読んで、以下の間に答えなさい。

開国から維新を機に、商品流通は幕藩制的な鎖国経済から国民的な開放経済^aへ、急激な変貌をとげた。その背後では、統一的な貨幣信用体系^bを求めて、官民双方による幾多の試行錯誤が積み重ねられた。こうした試みは1882年の日本銀行^c確立をへて、1897年の [d] 移行にかけてようやく安定した。

国民経済の形成にともなう貨幣信用体系の形成は多層的である。近代社会は、地金・鑄貨のほかに紙幣・銀行券・債券・株券など、さまざまな貨幣あるいは富^eの形態を一挙に生み出した。この貨幣信用の奔流は、金属本位制度と銀行制度^fの二つの流れを介して「中央銀行を軸とする [d] 」に合流し、近代的な貨幣信用体系を生み出す。

第一の流れは、国民国家による統一的な貨幣制度の確立であり、国家政府による貨幣高権確立の過程である。貨幣高権とは、政府が国民貨幣の発行権限を掌握し、造幣益を独占することを意味する。そのためには、貨幣の本位を定め、鑄貨のみならず紙幣についても安定した流通を確立することが必要であった。この過程は一片の法令によってかたづく問題ではなく、政府統治、すなわち政治権力^gの統一^hと財政基盤の構築をまっけてはじめて達成される。

第二の流れは、信用制度の展開である。信用を生み出す起動力は金属貨幣の節約にある。金属貨幣の交換・代替のなかから為替・手形・小切手など多様な銀行業務が発達し、その担い手として銀行が生まれる。このとき為替・手形・小切手・銀行券などの発展は、銀行券の発券集中により中央銀行制度を生み出し、ついに近代的な預金銀行による信用システムが確立する。

(出典：霧見誠良「近代の貨幣・信用」桜井英治・中西聡編『新体系日本史 12 流通経済史』山川出版社、2002年。一部改変あり)

問1 下線部 a に関連して、以下の問に答えなさい。

- (1) 産業革命の進展に伴い日本の貿易規模は拡大した。貿易品の取扱いで活躍し、三井財閥の中核となった商社を答えなさい。
- (2) 1880年に開業し、1887年、条例にもとづく特殊銀行に改められ、日本銀行の融資を受けて貿易金融の中心となった銀行を答えなさい。

問2 下線部 b に関連して、1871年、新貨条例が公布され、1円金貨を基準とし、円・銭・の十進法をとる硬貨が発行された。この空欄に当てはまる単位を答えなさい。

問3 下線部 c に関連して、以下の問に答えなさい。

- (1) 1882年、大隈重信が創立した、のちに早稲田大学となる学校を答えなさい。
- (2) 1882年の福島事件により福島自由党員が大量に検挙された。このときの福島県令の姓名を答えなさい。

問4 空欄 d には新貨条例で採用を定められ、1897年の貨幣法で確立された制度が入る。この制度を何とよぶか答えなさい。

問5 下線部 e に関連して、1886年から鉄道や紡績などで多くの会社が設立される会社設立ブームが起こった。この動きを何とよぶか漢字4文字で答えなさい。

問6 下線部 f に関連して、現在の埼玉県の豪農出身で、日本最初の国立銀行や大阪紡績会社の設立に関与した人物の姓名を答えなさい。

問7 下線部 g に関連して、近代日本の国家統治に関する以下の問に答えなさい。

- (1) 廃藩置県が実施された年を西暦で答えなさい。
- (2) 1873年に新設され、殖産興業や地方行政などに当たったほか、警察組織を統括した省を答えなさい。
- (3) 1925年、いわゆる普通選挙法と抱合せで制定された法律を答えなさい。

問8 下線部 h に関連して、以下の問に答えなさい。

- (1) 政府は財源の安定化のため1873年に地租改正条例を公布し、地価の %を貨幣で徴収する体制を整えた。この空欄に当てはまる数字を答えなさい。
- (2) 日露戦争後、地租や間接税の負担増により農業生産の停滞や農村の困窮が社会問題となった。これに対応すべく推進された、町村の強化などをはかる官製運動は何か答えなさい。